

Hondaらしい「FUN」をめざし、 日常で体感できる軽快でリニアな走りを実現した、新設計シャシーシステム。



なによりも、ドライバーの意志に忠実に応え、操作に対してどこまでもリニアであることを目指し、サスペンションからブレーキまで、すべてを刷新しました。中でもサスペンションは、ドライバーの操舵に対する車両挙動、および、旋回姿勢を改善。タイトな高速コーナーでも安心してドライブできるライントレース性を実現しました。操舵速度によらない安定感のあるステアフィールと、コントロール性を高めたブレーキフィールとあいまって、市街地でも高速道路でも安心感と軽快感のあるリニアな走りを実現しています。

操舵に対する車両挙動の狙い

●遅れないロール

操舵からロールが発生するまでの流れを解析。ドライバーが体感しやすい横Gとロールの位相特性に着目し、ロール剛性、リアサスペンションの横力剛性、ダンパーの減衰力特性を大幅に見直すことで、素直で遅れない車両挙動を実現しました。

●安定感のある旋回姿勢

ロールセンター高を、従来モデルに対しフロントは低くリアは高くすることで、安定感のある前下がリロール姿勢としました。

■車両挙動の狙い概念図

